



駒本の力

駒本小学校(家)
教育活動紹介便り
校長 田中 克昌
NO. 9
平成 27 年 9 月 18

「くつピタ」運動実施中

新学期が始まって数週間がたちますが、駒本の子どもたちは、とてもしつとりと落ち着いた状態で学習や生活に取り組んでいます。これは、夏休みの間に保護者のみなさんが子どもたちに愛情をたっぷり注いでいただいたお陰です。そんな子どもたちの様子を見るに付け、駒本小の子どもたちは可愛いらしいなあと、微笑んでいるところです。

駒本小では、昨年度から玄関の靴箱の使い方の指導に力を入れています。靴のかかとを靴箱のへりに揃えて入れるという「くつピタ」という活動です。今年もこの9月から「くつピタ」にチャレンジしよう、というこで集中的な指導に取り組んでいます。朝登校してきたら、上履きに履き替え、外履きのかかとをきちんと揃えて靴箱に入れる。たったこれだけのことですが、昨年からはまった活動ですので定着度は高いものの、全児童ができるようになるまでには、かなりの時間と根気強い指導が必要です。本校では、日直の先生が玄関で子どもたちを迎え入れるとき、必ず「くつピタ」の声かけをしています。校門での居ずまいを正した挨拶はほぼ100%の達成状況ですので、ぜひともこの「くつピタ」についても100%を目指していきたいと考えています。

では、なぜこのような指導に力を入れているのでしょうか。玄関は家の顔です。お客様を迎え入れるときも、玄関口がきちんと整っていると来客者は心地よい気持ちをもつことができます。それこそ、打ち水で玄関前をぬらし、掃き清めるという日本独特のすばらしいおもてなしの文化です。そして、これは礼儀正しきにもつながっていきます。居ずまいを正した礼儀正しさは、謙虚で素直な気持ちを育みます。その謙虚さと素直さは学びの基本となっていきます。それこそが、「愛と熱と力の駒本」の「力」の根幹を成すものであると思います。ご家庭でも改めてお話いただき、家に入るときは、靴のかかとと向きを揃えて入室できるような子どもたちを育てていきたいと願っています。



どんな顔で登校してきても、 笑顔で迎えて、笑顔にして帰そう

これは、4月から繰り返し、教職員に伝えている言葉です。子どもたちは日々の様々なことで心が動きます。しっかりと睡眠をとって朝食を食べて元気な笑顔で登校してくる子もいれば、家庭でちょっとしため事があつたり、夜更かしをしたりと、少し不機嫌そうな顔で登校してくる子もいます。体の調子が悪いのか元気がない顔で登校してくる子もいます。毎日、校門で挨拶をしていると、そんな子どもたちの日々の変化に気付きます。

だからこそ私たちチーム駒本は、まずは子どもたちがどんな顔で登校してきても笑顔で迎えることにしています。この教員たちの笑顔は、子どもたちを愛情をもって受け止めようとする証ですし、今日も一日子どもたちのために頑張っていこうという意欲です。そして、学習や生活の中で、子どもたちに達成感や成功感をもたせ、満足できた喜びの笑顔にしたいと考えています。この笑顔は自己肯定感を高めた状態であると言えます。そんな子どもたちの良い状態を学校でつくりだし、ご家庭に笑顔で帰したいと願っています。そのために教職員は様々な努力や工夫を積み重ねています。毎日パーフェクトとは言えないかもしれませんが、チーム駒本は「子どもたちがどんな顔で登校してきても、笑顔で迎え、子どもたちを笑顔にして帰す」ということを胸に刻んで日々の教育活動に専念していきます。学習面での具体的なことについては、「どの子も伸ばす、駒本の教育」とテーマで取り組んでいますが、それはまた号を改めてご説明したいと思います。

オリンピック・パラリンピック教育推進校

本年度、本校はオリンピック・パラリンピック教育推進校の指定を受けております。その内容について簡単にご紹介いたします。

【趣旨】2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、以下の取組の充実を図る。○オリンピック・パラリンピックの歴史や意義の理解○国際的なスポーツ大会等が国際親善や世界平和に果たす役割の理解○世界の国々の文化や歴史を学び、交流することを通しての国際理解○スポーツを通しての心身の調和的な発達が大きな柱です。

これらを具体的な内容にしていくと、本校が実践してきた学習と重なってきます。

＜国際理解＞外国語活動の中で、大学の留学生に来ていただき、交流する中で、総合的な学習の時間や社会に時間にその国について調べ、まとめる学習を展開していく。

＜伝統文化の尊重＞居ずまいを正したあいさつを徹底したり、落語家の方から作法も含めた伝統芸能を学んだり、道徳の時間に、あいさつや礼儀、郷土愛等に関わる内容を取り扱い、日本の伝統に触れたりする中で、“おもてなしの心”を学び、改めて日本のよさを見つめ直す学習を展開する。

＜体力の向上＞体育部を中心とした「チャイムダッシュ」「駒ラン」「駒なわ」等の取組を充実し、運動の日常化を図っていく。そして、体育科の授業改善を行い、どの子にも運動に親しませ、体力向上を図っていく。

以上のような取組をこれからも、オリンピック・パラリンピック教育推進校として実践していきます。